

2023年に突然の閉店をしてしまった vore café。リアルな被食体験を売りにスリルと癒しを味わえるスポットという唯一無二は存在だったのだけれど、それはもうない……。

私は閉店の知らせを聞いて「その節は大変お世話になりました」とつぶやいたとかつぶやいてないとか。

今でも思い返せば幸せになれるような時間と経験でした。

その vore café が、2025年9月に**復活**！その知らせを聞いて「お世話になります！」とつぶやいたとかつぶやいてないとか。

早速予約！10/20！いざ、丸呑まれ！と、相成りました。

場所が相模原から埼玉県秩父市に移転。が、移動時間的にはあまり相模原と変わらず。早い時間で予約も入れていたし秩父はあまり観光せず目的地へ。

一応細かい場所は伏せられているので省略。

集合場所で待っていると例によって店長さんのぶいさんが迎えに来てくれました。

「Gamygynさんは4回目でしたっけ」

「あっ、はい」

そんなこんなで入店。すると



ととーん。

ウワサのシャチフロート君とその周辺機器がなんか強化されている。

まずはメニューを選んで、シャワーを浴びる。

そして訪問時(10/20)は「ハイレベルな捕食者に食べられてみようキャンペーン！」につき、私は Lv3 のシーソーに挑戦！

Lv.3

つぶつぶ

2~3 時間

ゴーグル

音声

加湿器

温風

バスタオル

そして前金お支払いののち、シャワールームで身体を洗う。シャワールーム綺麗！そして身

体をよく清めて（？）戻る、
そこで被食体験を済ませた方々のノートを拝見。も、

「Lv3 のシーソー物凄く怖かったです」
「シーソーヤバイ！」

あまりにも不穏。そんな文言に震えていると、準備ができた模様。
リニューアルした vore 音声、ゴーグルの説明を受ける。も私が久々の丸呑みに緊張し過ぎて挙動不審に。店長さんゴメンナサイ。
そして改めて丸呑み体験についての諸注意を受ける。も
「あ、あれ、もう一個なんかあったような。まあ、忘れる位なので大事じゃないでしょう」
そのスゴイ心配になるヤツなんや。

そしていざ、シャチフロートの中へ。が、ここまでに私がキヨドリすぎたのもあってか身体が乾いてしまい、なんかちょっと引っ掛かってしまう。でも、何とか身体をねじるとシャチフロ君が一息で呑んでくれました。良かった。

しかもピンク肉壁シャチフロート、中がスゴイキツイ。ぬるぬるの粘液に包まれていてもわかる、逃げ場の無い締めつけ。その強力さに私は開始数秒でとろんと心が溶けてすりつぶされてしまいました。

それが終わると何か物凄い音が聞こえ始める。シーソーの装置がセットアップを始めた模様。強引に身体が持ち上げられ、回されるような感覚。さて、これから私はどう壊され、溶かされてしまうんでしょう。と、よくわからないことを考えながらセットアップ完了。このセットアップの間も捕食者の胃袋は私を執拗に責め続け、呼吸を奪い身体を締め上げ、粘液で包んで溶かそうとしてきます。

そしてそのまま体が傾いていく。すると粘液のせいで摩擦が失われスーっと消化管の中を滑っていく私。滑って行った先でまたぎゅうぎゅうに押しつぶされ、揉みしだかれ、今度は逆方向に滑っていく。

消化管の中で遊ばれているなんて、最高！もっと遊んで！と、最初から興奮状態の私。これはスゴイ。

少しするととろけてきた粘液が思い切り顔にかかり、呼吸ができない！おまけに腕を圧迫されて上手く動かせない！止めて！助けて！捕食者に対して命乞いをする（超小声）も、捕食者は意に介すどころかさらに私で遊び続ける。鼻と口を手で拭うも手も粘液塗れなので拭えない。しかも腕を圧迫された時に、しがみついていた呼吸用ホースを離してしまうというトンデモない事態に！粘液と圧迫で呼吸できなくて、しかも胃の中を滑らされて激しく玩具にされてしまったからホースが行方不明に。癪しに包まれているのに絶望させられ、最高（！？）な気分で溺れてしまう……。でも店長さんが呼吸用ホースを戻してくれたのでギリ

ギリ生還。

ただ、序盤でもう体力がボロボロに。シーソーで強引に滑らされ、臓器の奥へ奥へと送り込まれ、粘液と圧迫による窒息。激しい消化活動に抗うことはできず、というよりもうそんな考えも起きない位に思考は溶け、身体ももう動かせない。ギブアップ、と声に出さず（ここ重要）に宣言。

このギブアップというのは「店長さん出して！」ってことじゃないですよ？「私を呑んでくれた捕食者さん、私をもう好きにしてください。貴方の中でとろけて果てます」って意味のギブアップです。そんな、エサに何の権限があるんですか。

多分物の5分でここまで思考に至りました。生餌として出来上がりすぎてるワタシ。

そう考えると本当に楽しい。玩具にされてる。って感じがなんかたまらない（どM）奥へ奥へ送り込まれ、もう脱出は不可能な状況で、ちょっとした珍事が。

何か固いものが手に当たる。なんだこれ。良く触ってみると、加湿器のホースのキャップでした。どうやら粘液のせいで外れてしまったらしい。

これを「消化された先人の溶け残りの骨」とか勝手で突飛な思い込みにすることに。テンション爆上がり。

私もこうなっちゃうんだ……。最高……。とか、最早ただただ危ないだけの妄想をする。そんな妄想も、捕食者は溶かしていく。シーソーギミックが本当にすさまじい。思考回路ごと振り回してくれる。

この辺りからもう目をつむって寝ているような状態でした。それでも最高に気持ち良い。口や鼻に粘液がついたら、ちょっと汚いですがホースでかき落とし、呼吸を確保。しっかりとホースを握って顔のそばに持ってくれれば問題ない。ただただ玩具にされぎゅうぎゅうに押ししつぶされ、最高の時間を過ごす。すると、ちょっと体力に余裕が出てきたのであることを思いつき、ホースを持ったまま身体をうつぶせに、が、ここでよくわからないことが起きる。

まず、なんかうまくうつぶせになれない。ホースを持った状態で圧迫してくる肉壁を押し返すことに苦戦していたためか。無理やりにうつぶせになった後、ホースをつかみ直し、いざシーソーの傾くタイミングへ。顔から体内の奥へ突っ込む！完全に呼吸が奪われ粘液塗れになるもうまく空間を作って呼吸確保！が今度はシーソーが傾くにしたがって身体が横向きに。そしてそのまま仰向けに戻されました。

では今度は胎児のように丸まってシーソー待ち。足の方にものすごい速度で滑っていく。それが終わると今度は頭の方へ。が、そこで思い切り揉まれたせいかまたも仰向けに戻されました。

捕食者様、私が好きな体位を取ることも許して下さらないのですか（キショ）。なんて、なんて最高な捕食者様！（とてもキショ

結局仰向けのまま肉壁と粘液とスライドで蹂躪され続け、時間は終了。体力はもう限界を通り越し、シャチフロートから這い出す私。

「す、すごい」

もうこれしか言葉が出ない上に、ちょっと立てない時間がありました。

何とか立ち上がりシャワールームへ。

身体についていた粘液を洗い流している間も、なぜか讐言が止まらず「すごい」。

念入りに身体を洗い、後金を清算。その際に店長さんに、シャチフロート内で、体位を強制的に仰向けにされた話をすると、

「捕食者の体内ではもうなす術はないんですよ……」とのこと。

店長さんに見送られ、最寄駅から電車を乗り継いで帰宅。自宅の最寄り駅が近づくにつれ、以前同様に現実への帰還の虚しさに包まれる。

帰宅後は着替えを済ませてベッドへ。溶け切った思考回路のまま深い眠りに落ちていき、夢も見られませんでした……。最高。

－余談－

シーソーの行ったり来たり、体験中は考えることも許さない位でしたが、帰宅後に近いシチュエーションを思い出しました。

ただあまりにもおセンシティブなので書けません。vore の亜種ジャンルではあるらしいアレです・　ω　・